



2018
平成30年

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。
お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性化課へ

発行 ● 狛江市地域活性化課
〒201-8585 狛江市和泉本町 1-1-5
☎ 3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階 A号
☎ 3430-6617 FAX3430-6743

文化活動の拠点に一新



岩戸地域センター

3年前にリニューアル

岩戸地域センター(岩戸南2-2-5)は、岩戸町会の公民館があった場所に土地所有者の岩戸八幡神社と狛江市が土地の賃貸契約を結んで施設を建設、昭和53年にオープンした。

その後、建物の老朽化に伴い建て替えられ、平成27年にリニューアルオープンし、地域の市民文化活動の拠点としてより充実したコミュニティ施設に生まれ変わった。

新しい建物は鉄筋コンクリート造り地上3階・地下1階建て、延べ床面積1,014平方メートルで狛江市消防団第五分団器具置き場が併設され、耐震性に配慮し、明るく見通しの良い空間になるよう配慮している。また、屋上には太陽光発電システムが設置されている。

1階には事務室と図書室、畳敷きのフリースペースがあり、太陽光発電の仕組みや発電電力量のデータが見られるモニターも設置されている。地下1階には創作室、焼き物の管理が自由にできるように別室に陶芸窯を設置、防音設備を施しピアノと通信カラオケが置か

れた音楽室があり、2階には会議室3室に加え、授乳室やだれでもトイレが設けられている。3階には料理実習室があり、岩戸町会専用のスペースがある。

開館時間は午前9時から午後9時30分(図書室は正午から午後5時)。休館は第2・4日と年末年始。図書室を除く施設の利用は事前に団体登録が必要。

多彩な教室やイベント開催

周辺の町会・自治会、狛江第三小学校の児童や生徒、高齢者や地域活動、趣味やスポーツなど250以上の団体が利用している。



岩戸地域センターまつり

音楽室を使うカラオケの団体は17を数え、12月6日(日)にはカラオケ愛好利用団体合同発表会を催す。

年間の利用者は36,863人(平成29年度)にのぼった。

地域の市民23人で構成する運営協議会が主催事業の計画立案、運営、広報などを行っている。

今年度の事業は岩戸地域センターまつり(10月28日(日))、利用者懇談会・大掃除(12月1日(土))、新春音楽コンサート(31年1月26日(土))などを催す。また、料理や夏休みの子ども教室などの講座も開講、12月27日(日)にはフラワーアレンジメント教室を催す予定。

問い合わせ ☎ 3488-7040 岩戸地域センター。

学びの広場



会議室

A(面積62平方メートル) B、(47平方メートル) C(35平方メートル)の3室あり、Aには収納式の舞台、スクリーンを備える。Cは畳14.5枚が敷かれた和室で、邦楽や着付けなどに使われる。AとBには卓球台も備えてある。3つの部屋は間仕切りをはずして一体(145平方メートル)で利用でき、大人数の催しなどに使われる。



料理実習室

面積49平方メートル。調理台、シンク付きガスレンジ、オープンレンジ、冷蔵庫、食器などを備え、料理の実習をはじめそば打ちなどの教室、高齢者の会食会などにも利用されている。



創作室

面積34平方メートル。作業用の机4台、イス16脚をはじめシンク、洗濯機などの設備に加え、創作に必要な機材を置ける倉庫がある。また、別室に陶芸窯、ろくろもある。

岩陶会

岩陶会(進藤実代表)は、手びねりで作りたい陶芸作品を制作するグループ。

平成27年に同センターがリニューアルオープンした際、陶芸窯が新たに設置された。その窯を活用するため、運営協議会や同会相談役だった進藤さんが体験教室を企画、野川地域センターの陶芸グループ陶八会を指導している陶芸家の八木昭子さんを招いて28年に開催した。教室には約20人が応募、受講者を中心に同会が発足した。現在は40代から90代まで幅広い年代の男女合わせて15人が参加、障がいのある人もリハビリを兼ねて参加している。

創作は各自で作りたい物を作っており、食器、置物などのほか、仏像やお面などに取り組む人もいる。窯焼きは、作品が一定数になるのを待ってから行っており、1か月半に1回程度行う。

会員たちは「前から陶芸をやりたいのでうれしい。自分の作りたいものに挑戦でき、都合に合わせて参加できるなど自由な雰囲気が気に入っています。窯から出す時はいつも緊張します。思った通りにできないことも多いですが、それが楽しみでもあります」と話している。

同会では、毎年10月に行われる岩戸地域センターまつりで作品を展示する。例会は毎月第2・4日午前10時～午後3時。月会費3,000円(粘土代は自己負担)。

問い合わせ ☎ 3489-0932 進藤さん。

元祖蕎麦打ち迷人会

元祖蕎麦打ち迷人会(神原章造代表)は、そば打ちを通して地域の活性化と交流をめざしている。

世田谷区喜多見のスポーツクラブに

通っていた男性15人が、退職後の趣味としてそば打ちを始めようと集まり、平成15年に発足した。

「蕎麦打ちは男のロマン、飽く事なき探求心と迷いこそ青春の証」をモットーに、岩戸地域センターに集まって技術を磨いた。数年後からは仲間を広げるため、手打ちそばの基本を教えるそば打ち教室を同センターで月2回午後2時～4時に開催、同日5時～9時に技術向上を目的にした迷人会(例会)を催し、そば打ちだけでなく他の日本料理にも挑戦している。

同センター以外でも上和泉地域センターなどで教室を開いたり、高齢者の施設などでそば打ちを実演して、「手打

ち蕎麦の郷—狛江」をめざして活動を続けている。

会員になるには教室に参加してそば打ちの技術を習得することが必要で、現在の会員は女性も含め30人以上を数える。

教室の参加費は1回2,000円。神原さんたちは「教室の参加者はのべ1,000人を超えています。そば打ちは奥が深いですが、それが楽しみでもあります」と話している。

問い合わせ ☎ 080-1282-8166 または Msn.kambara@jcom.home.ne.jp 神原さん。

くるみの木

くるみの木(小林文子代表)は、小学生から高校生の子どもたちが楽しみながら絵を描くサークル。

元は慶岸寺幼稚園の保育、課外活動のひとつで彫刻家の柳川貴司さんが30年近く子どもたちに絵画を教えていた。

平成27年の幼稚園閉園に伴い、教室を終わらせるのは惜しいと、園児の母親などがサークルを立ち上げた。

現在小学生20人、中学生7人、高校生2人の合わせて29人が柳川さんから指導を受けている。初めは慶岸寺幼

稚園の卒園生だけだったが、口コミで広がり他の参加者も増えた。

小学1・2年生はクレヨン、水彩画、3年生以上は油絵を学んでいる。柳川さんが持参した題材から好きなものを選ぶが、子どもが納得するまで描くので、完成までに3～4カ月かかることもある。

プロを目指す子もおり、柳川さんの教え子の鎌田萌さんも美術大学を卒業後、アシスタントとして指導している。

柳川さんは「油絵は重ね塗りができ、表現の幅が広いので子どもにも向いています。子どもたちには真剣にものを見てほしいです」と話している。小学生は「影や光の表現が難しいけれど、自由にいろいろ試せるので楽しい」と話し、幼稚園時代から10年以上続けている高校生は「ここで絵を描くのが勉強の息抜きにもなり、週1度の楽しみです」と喜んでいる。

岩戸地域センターまつりでは、子どもたちの絵を展示する。

活動は毎週で小学4年生以下午後4時30分～5時30分、5・6年生午後5時30分～6時30分、中・高校生午後6時30分～8時。月会費3,500円。年会費1,200円(保険料込) 材料代別途。

問い合わせ ☎ 3415-5996 小林さん。



元祖蕎麦打ち迷人会



岩陶会



くるみの木